



## 心を整える



町体育大会に向けての練習

5月25日(金)に第62回入善町小学校体育大会が入善町中央公園陸上競技場にて開催されました。

この大会に向けて入善小学校の4年生、5年生、6年生は、4月から体育科の時間ももちろん、朝や放課後の時間などを活用し技術と体力の向上を目指して一生懸命練習してきました。特に、朝の合同練習は、初めて大会に参加する4年生にとっては、5年生や6年生と共に練習することで、言葉の説明では得ることのできない多くのことを学べる場であり、5・6年生にとっては、下級生の模範として

真剣に取り組む姿を見せるよい機会となりました。大会に向けた練習である以上、技術や記録の向上を目指すのは当然のことではありますが、同時に集団行動を通して子供たちの「心を整える」よい機会であるとも考えています。そういう視点から朝の練習を見ていて感心したことが3つありました。1つ目は、どの子供も必ず体操服を綺麗に折りたたみ、グラウンドの階段に整然と並べてから練習に臨んでいたことです。2つ目は、練習中に倒れたハードルに気付いた子供は誰でもさりげなく直していたことです。3つ目は、言われなくてもグラウンドに落ちた紙雷管を拾っている子供たちが何人もいたことです。これらは子供たちの心が望ましい行為という形になって表われている例です。子供たちの「心を整える」ように教師が意識して支援することは、集団で練習するに当たって最も大切にしたい事柄の一つであり、長い目で見ると健やかな成長に繋がっていくものと考えます。

大会当日については、どの子供も「自分の目標に向かって全力を出し切り、最後まであきらめない」姿が見られました。先日、授賞式を行いました。上学年の話の聞く姿勢と態度がとても立派でした。これも子供たちの「心が整っている」証なのかもしれません。このことを次への教育活動に生かしていくことで更なる成長に繋がっていきたいと思います。何とぞ、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



授賞式



授賞式での聞く態度

## 入善高校の皆さんとの交流会



野菜の苗植え

5月24日(木)入善高校農業科の2年生の皆さんと本校の2年生とで交流会を行いました。互いに名刺交換をしたり、野菜の苗植えやゲームをしたりして笑顔の絶えない楽しい一時を過ごすことができました。野菜の苗植えでは、ミニトマトやナス等の苗の植え方を丁寧に教えてもらいながら一緒に植えたり、鬼ごっこでは、高校生のお兄さんやお姉さんに思いっきり甘えて遊んでもらったりと年齢こそ違いますが、それぞれの立場で意義のある交流会になりました。

短い時間でしたが、子供たちにとっては大きな思い出として心に強く残ったものと思います。入善高校の皆さんには深く感謝いたします。今回の交流をよい機会として今後も苗の成長と共に、子供たちの成長を見守っていただくようお願い申し上げます。



## 田植え体験

5年生が、5月24日(木)田植えの体験活動を行いました。JAみな穂青壮年部の皆様に苗の植え方について説明していただいた後、裸足になって水田に入りました。直に土の感触を感じながらの作業でした。中には、途中で足が抜けなくなり尻餅をつく子、あっという間に田植えのこつをつかんでスムーズに進める子等、思い思いに土と触れ合うことができました。

農業の機械化が進み、日頃、なかなか体験することのできない農作業の一端を経験させていただきました。JAみな穂青壮年部の皆様には、このような活動の場を提供していただいたことに感謝するとともに、今後のお世話もお願いいたします。



5月24日 田植え体験